

2018年4月25日

日本原子力発電(株)

東海第二発電所 立坑型構造物のモデル変更について

1. 経緯

6つの立坑型構造物のうち、3つは円筒状タイプであり、解析モデルは既工認プラントと同様に1本の鉛直はり要素としている。残り3つは角柱状タイプであり、解析モデルは立坑としての許認可実績がないラーメン構造型のはり要素としていた。

4/19耐震ヒアリングにおいて、「既工認プラントを考慮した解析モデルで統一すべき」とご指導をいただいた。

2. コメント対応（解析モデルの変更）

既工認プラントを考慮した解析モデルで統一することが、審査を円滑に進めるために望ましいと判断した。

4/24耐震ヒアリングにて上記の方針変更を説明し了解を得た。

3. 説明工程

6つの立坑に係る計算条件（方法、内容等）は予定通り5月末までに説明する。

計算結果のうち、解析モデルの変更がない3つの立坑は予定通り6月末までに説明する。解析モデルの変更が伴う3つの立坑の計算結果は7月末を目途に説明する。

（その他）

今回の事象を踏まえ、全土木構造物を対象に再度、既工認プラントとの相違について確認を行う。

以上

説明工程表

		4月	5月	6月	7月	8月
計算条件	6つの立坑					
		説明				
計算結果	解析モデルの変更がない3つの立坑		計算	説明		
	解析モデルの変更が伴う3つの立坑		計算		説明	

